

—— たくさんのご支援をありがとうございます ——

2023年4月～2024年3月までの間に下記の団体、個人の方(掲載可能とご回答いただいた方のみ)からご支援をいただきました。
下記の皆様以外の方々からも多大なご寄付をいただき、小さいのちのドアの活動を支えていただいております。心から感謝申し上げます。(敬称略・順不同)

■マンスリーサポーター (団体)

合同会社向伸/株式会社M&Hリライアンス/株式会社グレイスファーマシー/株式会社ベルマリエ/宝塚フェロシッブ教会/西宮ハウスチャーチ

■マンスリーサポーター (個人)

阿部雅/清水智行/河路幹規/高野昌人/若林浩二/渡邊好美/金田晶佑/中村亮一/大和葉子/的場達矢/岡本浩一/加藤なつみ/早川みち子/神垣聡/吉田由佳/高畑洋三/中辻千恵/池田圭司/長井美代子/谷崎良一/三輪田敦子/蛭川貴子/中山智子/大塚裕太/松尾真優/小野香代子/土屋明子/青井介/田淵三枝子/服部みぎわ/小芝瑞穂/渡辺恵美子/富田理佳/菅原真実/横山由佳/駿河千賀子/勝田まり/中村巖/田窪佑和子/新見貴美子/高地実希/堀江義史/大浦有香/松枝美咲希/古正孝子/高野菜希/矢部由美/菅原徳子/濱田理恵/藤谷香織/西尾愛/佐藤礼果/中村伸子/鬼頭智宏/祐源亜矢子/川邊千穂/山本幸司/中野遥/三村雅司/五十畑真理子/板谷貴司/堀充宏/桂木里奈/前島文恵/ニシムラノブヨシ/三好雅夫/タニグチハルミ/藤井秀宗/西機哲夫・久美/小林誠/宮本由香里/くまもとまさき/山下善伸/小島明/松下マチ子/嘉数ひとみ/藤江隆人/服部達也・尚美/棟廣紀子/島上きく/谷口幸子/高橋智子/藤川修一/美田安紀子/三輪光代/匿名5名

■一般会員 (団体)

株式会社神明ホールディングス/社会福祉法人日の出福祉会/小越齒研

■一般会員 (個人)

秋葉弘幸/秋山藍希奈/網井仁/天羽りえ/池水千枝/石丸義男/岩渕まこと/上田明希子/長田啓子/甲斐三重/加賀谷真里子/片桐奈々/加藤明恵/加藤直美/刈屋恵/菊池圭介/京野公子/久保あさ美/桑畑幸子/後藤玲子/小畑光弘/坂聖人/坂下みちこ/佐久間陽三/笹部康子/佐藤雅子/鮫島輝美/柴田友美子/新谷毅/菅原早樹/駿河千賀子/高田昌代/高山純子/竹内正人/竹生真弓/竹田裕子/田中あづさ/田中元子/谷奥晃子/田丸小百合/出川さと子/出原瑞園/寺澤愛/デルミン康子/トンプソン恵子/中田裕子/中谷楓・颯太・歩/永原廉士/中廣美紗子/中村亮一/名田文子/西美穂/西島直子/西部多江子/西村武男/野中真早美/畑野慶子/浜芳子/林芳信/樋口裕美/日高梨沙/フクシマ愛子/藤田香奈恵/細野正之/前田由香子/宮本由香里/三輪田敦子/村住和子/初山幸恵/山下恵美子/山平利恵/緩詔由紀子/吉田伸/米岡和希/渡邊輝子/伊藤恵/伊藤祥子/宇賀翔飛/岩間節子/亀田隆/今井一穂/坂本はる奈/坂本真規子/笹倉良太/山田ユニケ/出川さと子/清水孝昭/糟谷亜紀子/則武満智子/竹尾みち子/中西康之/辻本美波/播本弘志/米田恵津子/友松美砂子/林裕之/鈴木可奈子/匿名4名

■賛助会員 (団体)

霞ヶ関キリスト教会 女性会/ぶどう株式会社/東灘バプテスト教会

■賛助会員 (個人)

井上啓子/井上久夫/大嶋善直/笠藤晋也/河村知里/寒河江健/竿代健/真田泰子/篠原よしみ/橘幸江/津野悠妃/長井美代子/中田真人/中村泰章/中森百合子/根本亜圭美/萩原万理/浅居幸/浅野貴保子/阿部あゆみ/伊藤洋子/猪股由利子/及川雅史/小笠原雅博/額田康子/鎌田厚志/古賀登シエ/佐久間初江/迫田はつみ/茂幾保代/瀬利うめの/千田征雄/園村奈美/武田祐子/田坪直/田辺幸子/土屋牧子/中嶋恭子/西脇恵子/浜田幸子/福岡陽子/松本省三/向井晃子/初山昭恵/森早苗/矢田和沙/矢田行雄/山本悟/山本智美/横山陽代/吉田由佳/若山友佳/渡邊優樹/加藤弘美/五十嵐利衣/高井恵子/山下寛/小野田博之/谷川こずえ/中島有子/長塚和子/白戸真美子/匿名7名

■ご寄付 (団体)

一般財団法人H2Oサンタ/医療法人回起会産婦人科/円プリオ神戸/大阪いのちを大切にす会/大阪キリスト教学院教会/大阪キリスト教短期大学きりしたんセンター/大野キリスト教会/学校法人佐賀ルーテル学園/唐津ルーテルこども園/カトリック垂水教会/株式会社豊誠総合法律事務所/株式会社かます東京/関西学院/基督兄弟団境キリスト教会/基督兄弟団日立教会/公益財団法人社会貢献支援財団/甲子園聖書バプテスト教会/国際ソロプチミスト神戸会長坂井敦子/子どもの本ジオジオ/社会福祉法人神戸聖隷福祉事業団/宗教法人日本オープンバイブル神戸キリスト栄光教会/日本基督教団神戸イエス団教会/日本キリスト教団池田五月山教会/日本基督教団四街道教会婦人会/日本メソヂック教団石橋キリスト教会/認定こども園頌栄保育園PTA/母の家ホテル/姫路ソントクラブ/ホールみのり/まどか法務行政書士事務所/モリス株式会社/山の街キリスト教会/結和工業株式会社/株式会社STYZ/忍ヶ丘キリスト教会JOY牧場/有限会社建築工房森玉

■ご寄付 (個人)

HIROKONAKAMURA/相山悦子/秋葉弘幸/アベナオコ/阿部直美/飯島一誠/石田智恵子/一柳翠/今吉正司/岩間敏/岩本和真/上野修/ウォン恵美子・スタンバーグみち/及川雅史/及川りつ子/大嶋博道/大島義和/大田和枝/大西満樹子/大西陽介/岡田恵理也・愛/岡野道弘/岡部敦史/岡部紫龍/小川由子/奥田佳子/奥村建夫/小栗絢子/長田啓子/オノダひろゆき/帯山陽子/女屋晴香/笠松松江/カツタマリ/勝谷裕美/桂順子/加藤京子/加藤道子/金丸清美/川口晶二/北島崇裕/京野公子/熊元理貴/小館貴幸/後藤博子/ごとうさきこ/坂口晶子/坂本はる奈/櫻田まり/佐藤咲子/佐藤夏美/四之宮早苗/芝早苗/清水/清水康之/白石信子/杉本華香/鈴木まゆみ/鈴木易子/瀬利うめの/高井佐枝子/高草恵美子/高尾紀子/高島憲三/竹内敏子/竹内正人/武田栗実/竹中由佳/田中登美子/谷雅博/中元寺則子/ツジモトヤスコ/土屋葉/鶴谷芽生/梶谷由香/友重理恵子/砥綿隆昌/中田茜/中西知子/永原廉士/ナカムラタイヨウ/中山一朗/名田文子/西村直子/西脇恵子/蛭川貴子/ヌノタニエイジ/野勢浩資/野村昭子/灰谷宏美/八東英子/ハマサキヒロミ/濱松ともみ/原口亜希子/播本耕治/廣井礼子/フクダマコト/藤井秀宗/藤田晴子/フジワラユリナ/古山陽一/細木恵三子/堀百賀子/まえひらこう/松井謙治/松尾由美/松本喜美子/松山由樹/眞鍋孝/満生篤子/水田美穂/南清子/三村雅司/三好雅夫/向井晃子/村田彩/本山いづみ/初山和浩/モリアユミ/山入美智子/山下善伸/山本愛子/山本範明/由良喜代美/横山あやか/吉田秀一郎/吉田由佳/吉野尚文/吉本博子/若狭みどり/岡部浩美/下敷領須美子/吉村美保/玉村稚万/兼田義也/後藤葉/高田嘉英/山口心和/室田完/出川さと子/小崎裕子/小島照夫/松本信愛/水上義彦/前川博子/大久保良子/大泉静代/池内多恵子/中屋莉佳子/朝霧由佳子/辻晶子/藤巻次雄/藤田努/平尾朋子/北村聖子/本多孝子/矢田貝啓子/匿名36名

■物品支援 (団体)

中央卸売市場/兵庫県養鶏協会/フードバンク関西/株式会社ロゴナジャパン/ノーツめくもり財団/Daigasグループ小さな灯運動/アマゾン合同会社

■物品支援 (団体)

新聖子/多田友香/浦田直子/立木多恵/西村直子/福岡隼・弓珂/加賀谷真里子

——— 他、多くの方々よりご支援もいただいております。いつも尊いご支援を心より感謝申し上げます ———

Peacemakerへの道のり vol.7

3月に無事修士課程を終えることができました。修士論文は全国各地にある居場所を運営している団体さんにご協力をいただきインタビュー調査をさせていただき、「脆弱な土台を作り直す育ち直しの支援」がそこにあり、本当に熱い思いで温かな支援が全国各地で行われていることを知り、貴重な学びと刺激を受ける機会をいただきました。

4月からは国の事業として妊産婦等生活援助事業が始まりましたが、ただ単に居場所の提供ではなく、安全安心で温かな holding のある居場所が広がることを期待しつつ、より一層尽力してまいりたいと思います！
「すべて、疲れた人、重荷を負っている人は、わたしのところに来なさい。わたしがあなたを休ませてあげます。」 聖書

お問い合わせは事務局へ

公益社団法人小さいのちのドア

〒651-1123
兵庫県神戸市北区ひよどり台2-30-6

☎078-743-2405

✉office@door.or.jp

🌐https://door.or.jp



国の事業として妊産婦等生活援助事業がスタート

わが国におきまして、2024年4月から困難を抱えた妊産婦等の生活援助事業がスタートしました。小さいのちのドアでは2018年9月から24時間体制で妊娠相談を始めましたが、相談の中には住むところがない、所持金が底をついた、頼る人がいない、その上、どこにも受診していないという、いのちに係わる深刻な状況の妊婦からの連絡が珍しくなくやってくるのですが、当時、その方々に手を差し伸べる制度が日本にはありませんでした。ないのであれば独自で支援するしかない、2020年、無償で衣食住と自立に向けた支援を提供するマタニティホーム Musubi を建築しました。

皆様には24時間妊娠相談を始める際も、マタニティホーム建築の際にも、また日々多大なご支援を賜り、胎児と新生児、また女性のいのちを守るこの事業をスタートさせ、ここまで継続することができました。そしてついに、民間の力だけで始めたこの事業が今年度、国の法定事業となったわけです。ここに至るまでに、こども家庭庁からは兵庫県の取り組みは先駆的であるとの評価を頂き、県の担当部署はガイドライン策定に尽力して下さり、私どもも発言の機会を度々頂きまして、取り組みを説明したり、意見を述べて参りました。

加藤鮎子大臣が小さいのちのドアに

2023年11月16日にはこども家庭庁の加藤鮎子大臣を表敬訪問し、小さいのちのドアの取り組みを説明したのですが、言葉一つ一つを丁寧に聞き下さり、小さいのちのドアにお越しになりたいとおっしゃって下さいました。またその翌週にはこども家庭庁の担当部署の方々が小さいのちのドアを訪ねて下さいました。妊娠したことで衣食住を欠くという状況の女性の背景には多くの傷ついた経験があることや、衣食住だけではなく、愛が枯渇した状態にあること、本当の意味での自立にはその傷が癒され、自分にとって安心の場所があると感じる事が不可欠であることをお伝え致しました。単に妊娠出産を手伝い、就職先や、住むところを整えるだけではない事業であることが分かっていた良かったのですが、熱心にお聞き下さった上で「全部盛り込むことはできませんが、できるだけ聞いたことを反映させます。」とのお言葉を頂くことができました。

共に働く仲間を募集しています！

小さいのちのドアでは、社会的な課題を抱える妊産婦や小さいのちに寄り添い、予期せぬ妊娠の相談から生活支援、自立までの一貫した支援活動に携わり、孤立している妊産婦や、小さいのちが大切にされる温かい社会の実現をとともに目指す職員を募集しています。

発行：小さいのちのドア事務局 発行日：2024年8月恵日

大臣がお越しになる日は1月のとある日と決まっていたのですが、能登半島地震のために官庁を離れるわけにはいかないとの連絡が入り残念に思っていたところ、土曜日なら可能とのことで大臣をお迎えすることができ、終始、和やかに視察して頂き、入居者の母子との面談の時には涙を拭いながらお聞きくださいました。

妊娠期の居場所づくりシンポジウム

実は小さいのちのドアと同じような取り組みをしているところが全国にいくつかあります。2017年ごろに自然発生的に東京や北海道、福岡、沖縄で困難を抱える妊産婦支援の働きが始まっていたのです。その途中で2021年頃からオンラインでの勉強会を行っていました。その中で、法改正施行前にシンポジウムを開催することになり、2月24日に東京で「妊娠期の居場所づくりシンポジウム」を行いました。こども家庭庁や兵庫県の担当者も交えての会となり、その様子を新聞各社が取り上げて下さいました。

NHK ハートネットTVで紹介

昨年12月頃からNHKのハートネットTVの取材をお受けしていたのですが、2024年4月29日に「生まれるいのち、どう守る?特定妊婦支援 現場の声」というタイトルでドアと沖縄の「おにわ」の取り組みを取り上げていただきました。私はスタジオで現場の声と事業の本質的なところを話しました。また共演者の日本大学の鈴木秀洋教授は行政の役割と行政の今後の課題を端的に話して下さいました。反響が大きく、多くのコメントが寄せられているとお聞きしています。

さいごに

目まぐるしく動いた2023年度、そして新年度スタートとなりました。今年度、新たに受託した事業もあります。小さいのちのドアは社会で最も小さいのちである胎児と新生児、そしてそのいのちを宿した弱い立場の女性のため、またすべてのいのちが貴ばれる社会を目指してこれからも励んで参ります。皆様のお支えがあればこそその活動です。これからも小さいのちのドアの活動を見守って頂きたく宜しく申し上げます。

公益社団法人 小さいのちのドア
代表理事 永原 郁子



詳細はこちら



■ 小さないのちのドア 5周年記念イベント

小さないのちのドアは2023年9月に5周年を迎え、10月28日(土)に5周年記念イベントを開催しました。

講演には1周年記念イベントにも来てくださった夜回り先生こと水谷修先生をお迎えし、若者の悲痛な叫びが聞こえてくるような心揺さぶられるお話と、音楽ゲストには小さないのちのドアのテーマソングを提供して下さっているPostmanが、「鼓動」と「結び」を演奏して下さいました。

当日はたくさんの方にお越しいただき、大盛況の中、終わることができました。イベントにご参加くださった皆様、また小さないのちのドアをお支えくださった皆様には感謝の念が尽きません。

5周年を節目に、小さないのちのために、悩みを抱える女性のために、スタッフ一同より一層尽力してまいります。



■ NHK ハートネット TV で紹介

年が明ける前頃からNHKのハートネットTVの取材をお受けし、2024年4月29日に「生まれるいのち、どう守る? 特定妊婦支援 現場の声」というタイトルで全国放送されました。放送後もたくさんの反響があったようで、応援メッセージをたくさんいただきました。

まだまだ特定妊婦への支援が十分周知されていない現状もあるため、今後も広報啓発活動にも力を入れていきたいと思っております。



大好評発売中



2022年秋に出版した書籍「小さなドアを開けて」。本書は、実際に助けを求めて「ドア」を開けた女性たちのエピソードを漫画で綴っているだけでなく、性の知識や福祉支援の仕組みなどについても、図とイラスト付きのコラムで分かりやすく解説されており、必要な知識も学べる内容となっています。10代の若者や親御さんをはじめ、本当に多くの方々に知っていただきたい、届いてほしいと願い出版しました。ぜひ、お読みください。

大好評発売中! 書籍のご注文はコチラ
https://www.gospelshop.jp

永原郁子・西尾和子 著 / のだますみ 漫画

全国の書店・Amazonなどインターネット書店でも購入できます!

小さないのちのドア プロモーションでの BGM「結び」を歌って下さっているPostmanの楽曲が、CDとオンラインで発売中です。購入されると実費以外が、寄付となります。小さないのちのドアのBGMにぴったりの温かいメッセージと優しい音楽とで紡がれた素敵な楽曲です。ぜひ一度、チェックしてみてくださいね。



▼レコチョク
https://recochoku.jp/song/S1013669670/
▼ヤマハの音楽配信サイト「mysound」
https://mysound.jp/song/7834527/

■ NHK 歳末たすけあい募金

NHK 歳末たすけあいのご支援により、Musubi で過ごす入居者さんにクリスマスやお正月といった季節の行事を楽しんでいただくことができました。また Musubi 卒業生の方を対象としたクリスマスパーティーを元町のレンタルスペースを貸し切って開催し、心に残る思い出づくりができました。



■ こども家庭庁・加藤鮎子大臣視察

2024年4月の児童福祉法改正を前に、実際に生活支援事業を行っている私どものところにこども家庭庁の担当部署の方々が妊産婦等生活援助事業のガイドライン作成のためのヒヤリングに訪れてくださいました。衣食住の提供だけではなく、行き場のない妊産婦さんの特徴や生育歴など、複雑な背景に合わせた温かな支援が必要であること、ハード面だけではないソフト面での居場所づくりの必要性などお話をさせていただきました。全部盛り込むことはできなくても、できる限り反映いたしますとおっしゃってくださいました。

2月には加藤大臣が訪ねてくださり、ドアの働きに実際に触れていただきました。ご質問も積極的にしていただき、入居者の母子との面談の場面もありましたが、赤ちゃんへの優しいまなざしとお母さんのお話に時に涙されながら真剣にお話を聞いてくださっていました。



■ 性教育部門「いのち語り隊」

小さないのちのドアでは予防と啓発の観点から、予期せぬ妊娠の相談を受けているからこそ見えてくる社会の現状や課題を交えて、生と性の大切さを伝える「いのち語り隊」として、自他ともに幸せに過ごせる社会の実現を目指して、いのちの輝きを伝えています。お気軽にご依頼ください。

【2023年活動件数】 講演件数：113 講演

講演依頼・お問い合わせ
078-743-2405
kataritai@door.or.jp



■ 妊娠期の居場所づくりシンポジウム

2021年より、ドアと同じような妊産婦の居場所支援をしている3団体で共同勉強会をオンラインで始めました。2022年には少しずつその輪が広がり、参加する団体も増え、時にはこども家庭庁の方にも参加していただくなど、お互いの交流やよき学びの時となっています。共同勉強会を進める中で、2024年4月の児童福祉法改正と困難女性支援新法施行に合わせ、共同勉強会主催で社会へ発信すべく、2月24日に東京で「妊娠期の居場所づくりシンポジウム」を開催しました。当日はこども家庭庁や兵庫県等、行政の担当者の方々も交えての会となり、大変有意義な時間を持つことができました。今年度は共同勉強会メンバーで学会発表なども予定しており、より良い支援の輪の構築ができればと思っています。



■ Z世代へのプレコンセプションケア講師派遣事業受託

2024年度は、兵庫県下の高校生、大学生、教員の方を対象に、若い世代が正しい知識を踏まえて将来の妊娠・出産を選択できるよう、健康づくりや性教育とあわせて「Z世代に向けたプレコンセプションケア」(若い男女が将来のライフプランを考えて日々の生活や健康と向き合うこと)の普及啓発を行う事業を兵庫県から受託しました。これまでも妊娠葛藤相談を受ける中で、間違いや偏った性の知識や情報が氾濫していることに危機感を覚えておりますが、予期せぬ妊娠等の課題に向き合ってきたからこそ、リアルな性にまつわる現状を語るができると考えています。プレコンセプションケアと長年続けているいのち語り隊の活動も充実させながら、西へ東へ、北へ南へ、日本全国どこへでも喜んで参りたいと思っております。

■ 生活・自立支援事業「マタニティホームMusubi」

国の事業となり、需要がますます高まっています。マタニティホームMusubiも常に満床状態が続いています。たくさんの妊産婦さんに利用していただくことができ、感謝です。

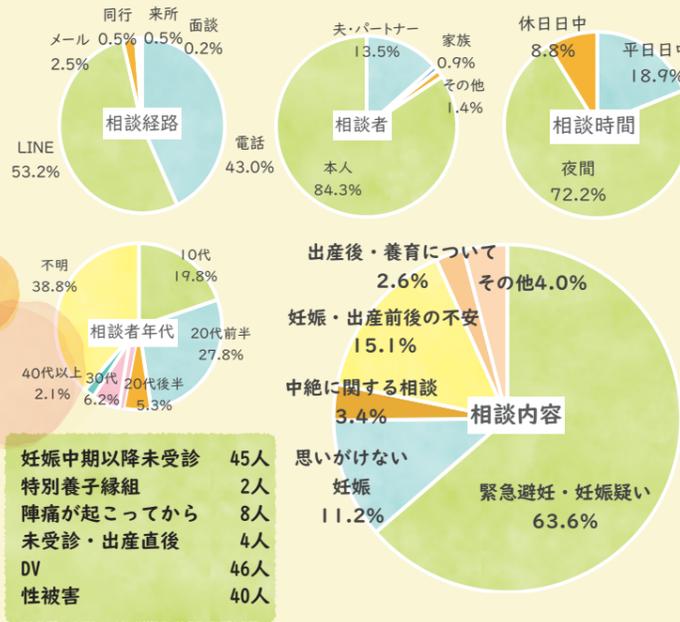
2023年度は19名の妊産婦が入所

就職	5名	市内	6名
自立	9名	県内	7名
家族調整自宅	2名	県外	6名
妊娠中	3名	(転入)	8名
特別養子縁組	4名		
ステップハウス利用	3名		

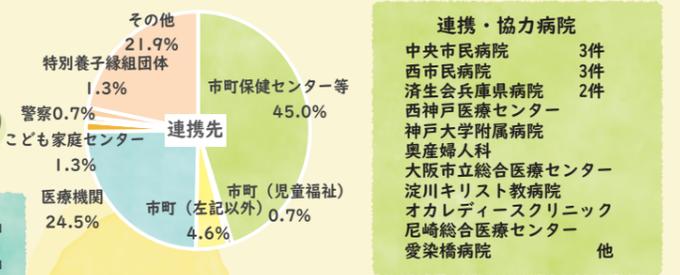
マタニティホームMusubi

■ 相談事業について

2023年度も引き続き兵庫県・神戸市より妊娠SOS相談事業の委託を受け、SNSでの情報発信とアウトリーチに力を入れたこともあり、相談者数は増加傾向にあります。2023年度も相談の多くは、妊娠疑い・避妊に関する相談ですが、毎年一定数の妊娠中期以降の病院未受診者からの相談や、特に陣痛発来後、自宅等で一人で出産する孤立出産後の緊急を要する相談が月1件程度の割合で多かったことが特徴です。



【相談件数推移】 小さないのちのドア開所時 2018年9月～2024年3月



連携・協力病院

中央市民病院	3件
西市民病院	3件
済生会兵庫県病院	2件
西神戸医療センター	
神戸大学附属病院	
産産婦人科	
大阪市立総合医療センター	
淀川キリスト教病院	
オカレディースクリニック	
尼崎総合医療センター	
愛染橋病院	他

2023年度も多くの関係機関と連携調整をさせていただき、すべてのいのちが守られていることに感謝しています。

小さないのちのドアは、皆様の温かい支援によって運営されています。どうぞ私たちと一緒に小さないのちのドアを支えてください。

サポートの種類

1. 一般会員 一口(個人) 10,000円/年 (団体) 100,000円/年
2. 賛助会員 一口(個人) 3,000円/年 (団体) 30,000円/年
3. マンスリーサポーターになる: 任意の金額/月
4. 寄付をする
5. ボランティアに参加する ※詳細は事務局へ
6. 里親希望(特別養子縁組や里親制度をご紹介) ※詳細は事務局へ

1. オンライン決済(クレジットカード決済) Syncable・Square・READY FORにてクレジットカード決済ができます。 https://door.or.jp/support
2. 郵便振替・自動送金 記号: 00900-9 / 番号: 333599 加入者名: 小さないのちのドア
3. 現金書留 裏面の小さないのちのドア事務局宛にお願いいたします。
4. 銀行振込 金融機関 三井住友銀行 ゆうちょ銀行 支店名 鈴蘭台支店(348) 099(せと17171)店 種類・番号 普通 5062338 当座 0333599 名義 公社) 小さないのちのドア 小さないのちのドア

※【公益社団法人等寄附金特別控除】2022年9月15日から、小さないのちのドアは、「寄附金特別控除の対象となる公益社団法人等」として認定されました。 ※ご入金くださった方や、特に領収証が必要な方は、小さないのちのドアまで、電話/FAX/メールにて、お名前とご住所をお知らせ下さい。